

三極体制で 意思決定を スピードアップ

経営体制では2016年4月から、これまでの日本本社集中体制から「アジア・大洋州本部」「欧州・アフリカ本部」「米州本部」の三極体制に移行し、日本はグローバル本社として、三極のフォローとサポートを実施していく体制としました。各本部に配置した担当役員が中心となって拠点間の連携を密にし、エリアごとの特性に応じた製販一体となった施策を急ピッチで進めています。意思決定のスピードが従来と比べて向上した事により、グローバル経営体制がより強固なものとなり、今後の大きな飛躍につながると考えています。

また、グッドイヤー社とのアライアンス契約の解消により自由度の増した欧米を中心に、生産体制の整備とともに、販売体制の強化を図るなど、大きな一歩を踏み出しました。



JEEP®「Compass」にFALKENの納入を開始



メジャーリーグベースボールへのスポンサー契約を継続

米州

米州では、まず生産能力の拡大を図っています。米国工場では需要の多いSUV用タイヤを中心に、乗用車・ライトトラック用タイヤの生産能力を現在の日産5,000本から2019年末に10,000本に拡大し、北米での高付加価値タイヤの販売拡大を図っています。ブラジル工場では、需要増加が見込めるトラック・バス用タイヤの安定供給と為替リスク回避のため、同タイヤの現地生産に向け準備を進めています。2019年3月より生産を開始する予定で生産能力は日産500本です。また、乗用車・ライトトラック用タイヤについてもさらなる増強を計画しており、2019年末に現在の日産15,000本から18,000本に拡大し、南米市場における競争力のさらなる向上につなげます。

開発体制に関しては、「米国テクニカルセンター」が2017年1月に本格稼働しました。また従来は二輪車用タイヤの評価を行っていた「米国タイヤテストコース」についても、2017年3月より四輪車用タイヤの評価を開始しています。これら開発、評価体制の強化により、米州市場において顧客ニーズを取り入れた、商品力の高いタイヤをスピーディに市場に投入する現地開発体制が整います。

そして販売面においては、新車用タイヤで新たに北米向けのフォルクスワーゲン「ゴルフ・オールトラック」、JEEP®「Compass」への納入を開始するなど、順調に装着車が拡大しています。プロモーション展開ではメジャーリーグベースボールのスポンサー契約を継続するなど、引き続きFALKENブランドのバリューアップを図っています。



米国工場

欧州・アフリカ

生産面では、トルコ工場では当社独自の「太陽」工法による高性能タイヤの供給能力の強化が進んでいます。南アフリカ工場でも、乗用車、SUV用の高性能タイヤを中心とした能力増強を図るとともに、トラック・バス用タイヤの生産設備導入を計画しており、生産能力が順調に拡大しています。

開発体制に関しては、ドイツ・ハナウ市に2017年8月、「欧州テクニカルセンター」を本格稼働させます。これにより、欧州およびアフリカ市場の顧客ニーズを取り入れた商品力の高いタイヤを投入する体制が整います。

販売面では従来のドイツ中心の販売体制から欧州全域で国別の販売戦略を取る体制に変更し、顧客拡大を図っています。2017年2月には、英国市場におけるFALKENブランドのプレゼンス向上を目的として、英国のMicheldever Group Ltd.(以下MD社)を買収しました。MD社傘下のタイヤ卸・小売会社Micheldever Tyre Services Ltd.は、英国内で約6,000以上の小売店・自動車修理工場等にタイヤ卸を行う他、直営のタイヤ小売チェーン「PROTYRE」を約100店展開し、英国市販タイヤ市場において年間約600万本を販売する英国大手のタイヤ販売会社です。今回の買収により、欧州事業の拡大を一層強化していきます。

また、「ニュルブルクリンク24時間耐久レース」では、従来のFALKENポルシェに加えBMWを追加した2台体制に強化するほか、ドイツ・ブンデスリーガ1部リーグ「FCインゴルシュタット04」とのスポンサー契約を継続します。新車用タイヤではセアト※の新型SUV「アテカ」、そしてシュコダ※の「サパーブ」への納入を開始するなど新規採用が順調に拡大しています。

※フォルクスワーゲングループ



ニュルブルクリンク
24時間耐久レース
参戦体制を強化



ドイツ・ブンデスリーガ
1部リーグ「FCインゴル
シュタット04」スポンサー
契約を継続



セアト「アテカ」に
FALKENの納入を開始

アジア・大洋州

アジア・大洋州では商品力の強化、販売店網の拡充の取り組みを積極的に進めています。

商品では今後、環境規制が進むと予想されるアジアで、環境対応タイヤのラインアップ拡大を進めています。中国では、2016年9月から低燃費タイヤの自主規制がスタートしましたが、当社ではこの基準に適合した「SP TOURING R1」「ENASAVE EC300+(プラス)」をいち早く展開しました。また、他のアジア市場についても、この2商品を中心に全面的に拡大し、環境対応タイヤ市場でのプレゼンスをさらに高めていきます。

中国では自動車の総合的なメンテナンスサービスを提供する「Dガード」の展開を強化したほか、FALKENブランドの取扱店が約600店となり、DUNLOPと合わせた総取扱店舗数は約6,000店となりました。マーケット拡大が期待できるインドではFALKENブランドの取扱店は約1,200店となりました。また、オーストラリアでのFALKENブランド取扱店「FALKENパルス」は150店まで拡大しています。

(注)取扱店舗数は2016年末時点



SP TOURING R1

ENASAVE EC300+



中国で「Dガード」の
展開を強化